

# 携帯型磁気ループ (HS-60) 設置・取扱い説明

## 設置方法

1

ドラム型ループアンテナ (20m) を目的の場所に敷設します。



その時、20m では足りない場合は、延長用ドラム型ループアンテナ (オプション) を使用して下さい。



\*アンテナ敷設時の注意

ドラムのケーブルは余っても全てドラムより出して下さい。

2

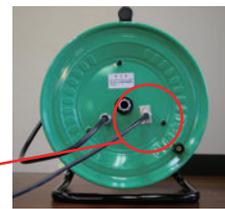
磁気ループアンプ本体 (HS-60) を所定の位置に置く。  
AC 電源をコンセントにつなぐ。



\*スイッチは、まだ入れないで下さい。

3

アンプ本体 (HS-60) とドラム型ループアンテナをケーブルでつなぐ。



\*付属ケーブルの両端オス・メス 4ピンキャノンケーブルを使用

## 使用する会場に音響設備が有り利用する場合

会場の音響設備の音声出力 (ラインアウトあるいはサブアウト等) から、磁気ループアンプ本体 (HS-60) のラインにケーブルをつなぐことで使用できます。

\*ケーブルは磁気ループ側は標準フォーンジャックですが、相手側の形状は確認が必要となります。



ライン  
(ライン入力)

標準フォーンプラグ



\*この場合は、磁気ループ用の専用マイクは使用せず、会場の音響設備で全て対応可能になります。

## 磁気コイル付補聴器・人工内耳を装用の方へ

磁気ループアンテナ内ではお使いの補聴器

・人工内耳を【T】に切替えてご使用ください。

磁気ループ専用受信機 (SOR-80) でも聴く事ができます。

\*難聴者の方はそれぞれ聞こえの状況が異なりますので事前にチェックできれば、より確実な支援ができます。



ポケット型補聴器



耳かけ型補聴器



人工内耳

人工内耳の方はサウンドプロセッサを使用して下さい。

M T O



通常はこの位置です

M T O



この位置で磁気ループが利用できます